

# スーパーマーケット販売統計調査 (12月実績速報版・11月実績確報版)

## ●速報(パネル)版について

毎月「同一企業310社」を対象として集計しています。

パネル集計であるため「販売金額(円)」の時系列推移も参照できます。

## ●確報(全数)版について

調査に回答のあった「すべての企業」を対象として集計しています。

集計企業が毎月異なるため「販売金額(円)」の時系列推移は参照できませんが

速報版より多くの企業による「前年同月比(%)」の集計を行っています。

## 【集計項目】

- 商品分類別売上高:全店売上高(万円)・構成比(%)・全店・既存店前年同月比(%)
- エリア別集計:全店売上高(万円)・全店・既存店前年同月比(%)
- 保有店舗別集計:全店売上高(万円)・全店・既存店前年同月比(%)
- 集計企業数、総店舗数、総売場面積
- 既存店総売上高(万円)、店舗平均月商、売場1㎡あたり売上高

### スーパーマーケット販売統計調査における商品分類

総売上高	食品合計	生鮮3部門	青果	野菜類、果実類、花
			水産	魚介類、塩干物
			畜産	食肉類、肉加工品
		惣菜	惣菜、折詰料理、揚物、弁当、おにぎり、寿司、インスタペーパー、ファーストフード	
	日配	豆腐、こんにゃく、納豆、練製品、佃煮、漬物、パン、卵、乳製品、生菓子、冷凍食品、アイスクリーム		
	一般食品	調味料、瓶詰詰、乾物、米、小麦粉、乾麺、嗜好品、菓子、酒類		
	非食品	日用雑貨品、医薬・化粧品、家具インテリア、家電製品、婦人衣料、紳士衣料、文具、玩具		
その他	テナント売上高、タバコ・ギフト販売、その他取次業(DPE、クリーニング、宅配便、レンタル、チケット販売等)			

### スーパーマーケット販売統計調査におけるエリア分類

北海道・東北エリア	北海道、青森、岩手、秋田、宮城、山形、福島
首都圏エリア	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨
東海エリア	岐阜、静岡、愛知、三重
北信越エリア	福井、石川、富山、長野、新潟
関西エリア	滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山
中国・四国エリア	鳥取、島根、岡山、広島、山口、徳島、香川、愛媛、高知
九州・沖縄エリア	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄

2013年1月22日

日本スーパーマーケット協会  
 オール日本スーパーマーケット協会  
 一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

スーパーマーケット販売統計調査に関するお問い合わせ

tokei@super.or.jp

2013年1月22日

日本スーパーマーケット協会  
 オール日本スーパーマーケット協会  
 一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

## スーパーマーケット販売統計調査（12月実績速報パネル版）

	全店売上高（万円）	構成比	前年同月比 （全店）	前年同月比 （既存店）
総売上高	<b>94,356,651</b>	100.0%	<b>101.2%</b>	<b>98.7%</b>
食品合計	81,287,566	86.1%	<b>101.4%</b>	<b>98.8%</b>
生鮮3部門合計	30,516,995	32.3%	<b>101.4%</b>	<b>99.0%</b>
青果	11,339,421	12.0%	<b>103.3%</b>	<b>100.8%</b>
水産	9,414,276	10.0%	<b>99.3%</b>	<b>96.9%</b>
畜産	9,763,298	10.3%	<b>101.5%</b>	<b>99.2%</b>
惣菜	8,484,015	9.0%	<b>101.8%</b>	<b>98.7%</b>
日配	16,762,717	17.8%	<b>101.9%</b>	<b>99.1%</b>
一般食品	25,523,839	27.1%	<b>100.8%</b>	<b>98.4%</b>
非食品	8,700,523	9.2%	<b>98.7%</b>	<b>97.2%</b>
その他	4,368,563	4.6%	<b>100.8%</b>	<b>98.2%</b>

### エリア別集計

エリア	全店売上高（万円）	集計対象企業数	前年同月比 （全店）	前年同月比 （既存店）
北海道・東北エリア	16,584,698	52	<b>103.5%</b>	<b>99.7%</b>
首都圏エリア	34,804,131	90	<b>100.9%</b>	<b>99.0%</b>
北信越エリア	6,791,693	32	<b>100.8%</b>	<b>99.6%</b>
東海エリア	5,166,070	35	<b>98.3%</b>	<b>98.0%</b>
関西エリア	18,419,469	35	<b>100.6%</b>	<b>97.3%</b>
中国・四国エリア	6,373,033	40	<b>101.9%</b>	<b>98.2%</b>
九州・沖縄エリア	6,217,556	26	<b>98.6%</b>	<b>97.7%</b>

### 保有店舗数別集計

保有店舗数	全店売上高（万円）	集計対象企業数	前年同月比 （全店）	前年同月比 （既存店）
1～3店舗	958,861	56	<b>94.5%</b>	<b>96.3%</b>
4～10店舗	5,204,200	91	<b>98.1%</b>	<b>98.3%</b>
11～25店舗	14,242,470	78	<b>100.1%</b>	<b>97.6%</b>
26～50店舗	21,150,975	49	<b>101.2%</b>	<b>99.5%</b>
51店舗以上	52,800,147	36	<b>101.9%</b>	<b>98.6%</b>
集計企業数（社）	310	既存店総売上高（万円）	90,875,382	
総店舗数（店舗）	7,358	店舗平均月商（万円）	12,824	
総売場面積（㎡）	11,788,622	売場1㎡あたり売上高（万円）	8.0	

※売上高は千円以下、構成比・前年同月比は小数点第2位以下四捨五入

※前年同月比（全店）：前年同月営業の全店舗と当月営業の全店舗における比較による

※前年同月比（既存店）：前年同月と当月共に営業の店舗における比較による

2013年1月22日

日本スーパーマーケット協会  
 オール日本スーパーマーケット協会  
 一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

## スーパーマーケット販売統計調査（11月実績確報全数版）

	全店売上高（万円）	構成比	前年同月比 （全店）	前年同月比 （既存店）
総売上高	80,362,638	100.0%	100.9%	98.4%
食品合計	69,040,475	85.9%	100.9%	98.3%
生鮮3部門合計	25,245,907	31.4%	100.7%	98.2%
青果	9,595,878	11.9%	101.1%	98.5%
水産	7,121,434	8.9%	99.6%	97.1%
畜産	8,528,596	10.6%	101.3%	98.7%
惣菜	7,015,018	8.7%	101.8%	98.8%
日配	14,840,036	18.5%	100.8%	98.3%
一般食品	21,939,513	27.3%	100.9%	98.3%
非食品	7,936,500	9.9%	103.0%	101.0%
その他	3,385,663	4.2%	100.9%	98.4%

### エリア別集計

エリア	全店売上高（万円）	集計対象企業数	前年同月比 （全店）	前年同月比 （既存店）
北海道・東北エリア	12,905,606	53	102.4%	99.2%
首都圏エリア	28,315,210	93	100.5%	98.5%
北信越エリア	5,242,309	32	100.3%	98.2%
東海エリア	4,649,501	37	98.1%	96.9%
関西エリア	16,730,858	38	101.5%	98.5%
中国・四国エリア	7,090,306	43	101.0%	97.7%
九州・沖縄エリア	5,428,848	31	99.1%	98.5%

### 保有店舗数別集計

保有店舗数	全店売上高（万円）	集計対象企業数	前年同月比 （全店）	前年同月比 （既存店）
1～3店舗	853,378	61	94.9%	96.5%
4～10店舗	4,529,479	97	97.7%	96.9%
11～25店舗	11,343,853	79	99.2%	96.9%
26～50店舗	16,239,160	48	101.1%	99.1%
51店舗以上	47,336,773	41	101.6%	98.8%
集計企業数（社）	327	既存店総売上高（万円）	77,639,086	
総店舗数（店舗）	7,819	店舗平均月商（万円）	10,278	
総売場面積（㎡）	12,656,724	売場1㎡あたり売上高（万円）	6.3	

※売上高は千円以下、構成比・前年同月比は小数点第2位以下四捨五入

※前年同月比（全店）：前年同月営業の全店舗と当月営業の全店舗における比較による

※前年同月比（既存店）：前年同月と当月共に営業の店舗における比較による

2013年1月22日

日本スーパーマーケット協会  
 オール日本スーパーマーケット協会  
 一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

## スーパーマーケット販売統計調査 2012年（1月～12月）実績パネル版

	全店売上高（万円）	構成比	前年同月比 （全店）	前年同月比 （既存店）
総売上高	<b>964,058,528</b>	100.0%	<b>101.0%</b>	<b>98.4%</b>
食品合計	847,492,359	87.9%	101.1%	98.4%
生鮮3部門合計	315,813,050	32.8%	101.2%	98.4%
青果	128,514,628	13.3%	102.7%	100.0%
水産	88,783,813	9.2%	99.9%	97.3%
畜産	98,514,609	10.2%	100.3%	97.5%
惣菜	87,202,830	9.0%	103.0%	99.6%
日配	180,355,328	18.7%	100.8%	98.1%
一般食品	264,121,151	27.4%	100.7%	98.2%
非食品	81,604,748	8.5%	98.2%	96.5%
その他	34,961,422	3.6%	102.6%	100.3%

### エリア別集計

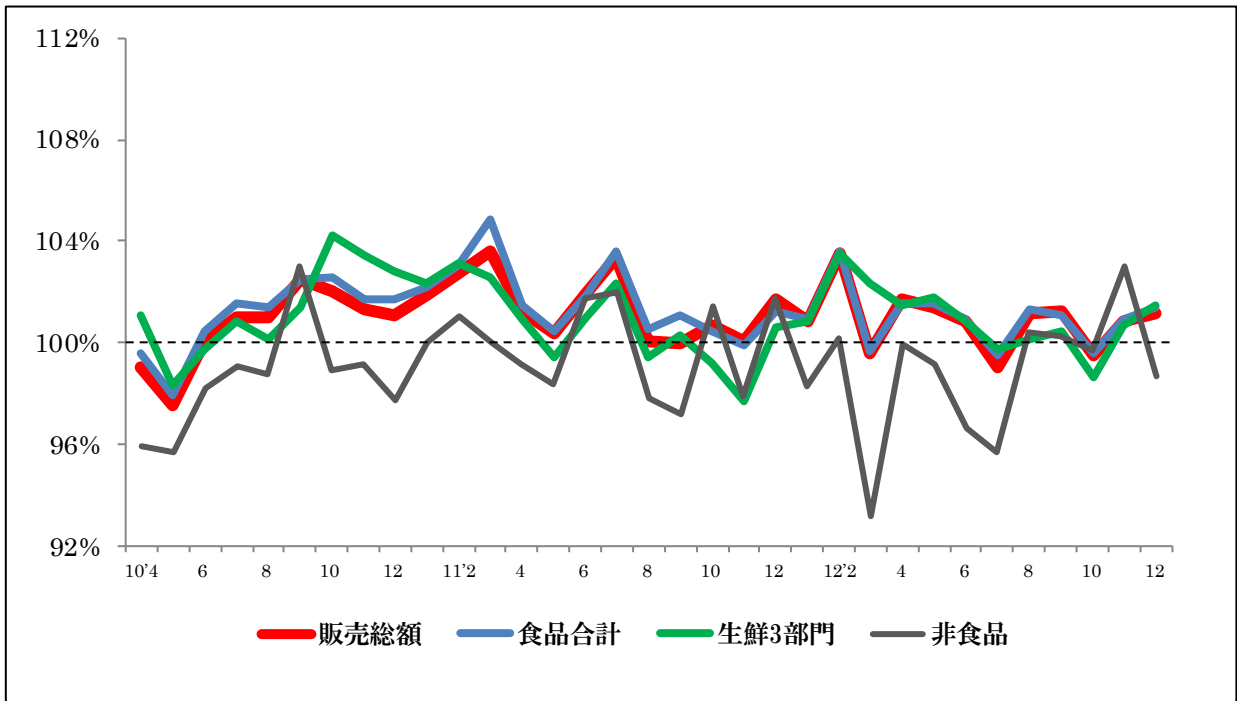
エリア	全店売上高（万円）	集計対象企業数	前年同月比 （全店）	前年同月比 （既存店）
北海道・東北エリア	163,297,381	52	102.5%	100.1%
首都圏エリア	349,005,543	90	99.9%	97.9%
北信越エリア	67,961,015	32	100.7%	98.5%
東海エリア	56,442,823	35	98.2%	97.0%
関西エリア	201,709,615	35	102.7%	97.7%
中国・四国エリア	63,969,771	40	100.5%	98.5%
九州・沖縄エリア	61,672,379	26	100.0%	98.6%
集計企業数（社）	310	既存店総売上高（万円）	924,524,191	
		店舗平均月商（万円）	11,034	
		売場1㎡あたり月商（万円）	6.9	

※売上高は千円以下、構成比・前年同月比は小数点第2位以下四捨五入

※前年同月比（全店）：前年同月営業の全店舗と当月営業の全店舗における比較による

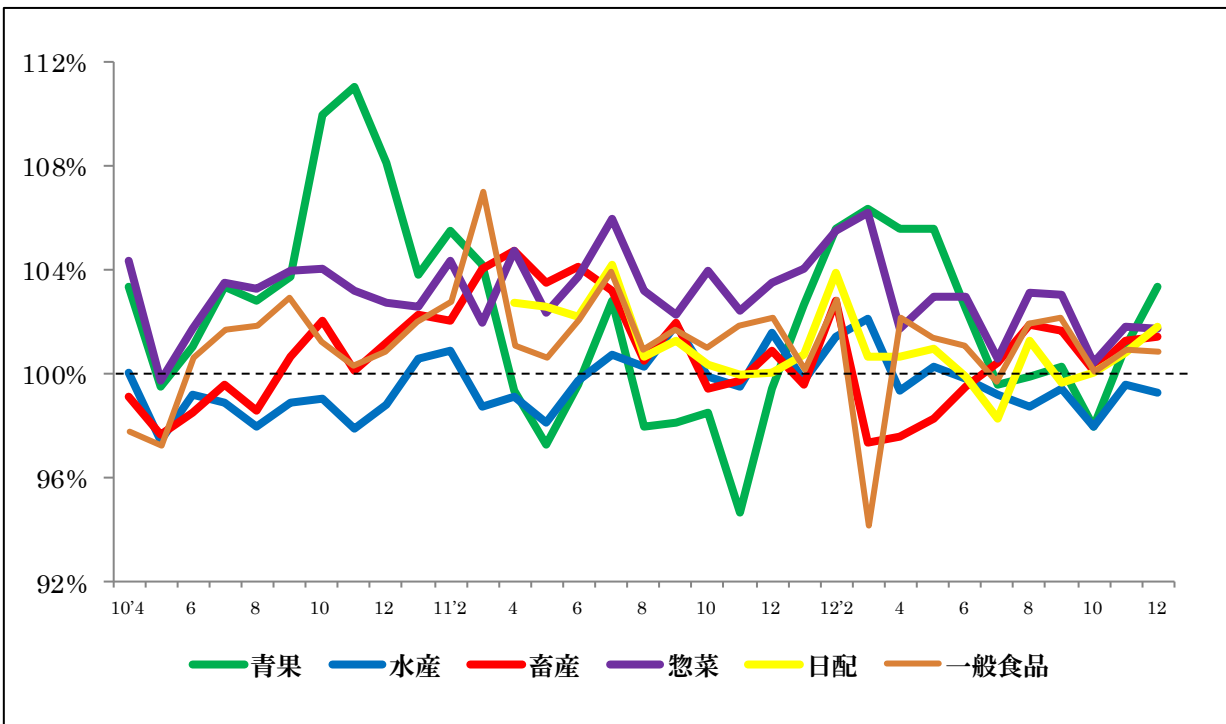
※前年同月比（既存店）：前年同月と当月共に営業の店舗における比較による

スーパーマーケット販売統計推移 2010年4月～2012年12月(全店ベース対前年同月比)  
販売総額・食品合計・生鮮3部門・非食品



※2010年4月～2012年11月までは確報版による前年同月比、2012年12月は速報版による前年同月比  
※2011年3月までは、「非食品」に「その他」を含む

スーパーマーケット販売統計推移 2010年4月～2012年12月(全店ベース対前年同月比)  
青果・水産・畜産・惣菜・日配・一般食品



※2010年4月～2012年11月までは確報版による前年同月比、2012年12月は速報版による前年同月比  
※2011年3月までは、「一般食品」に「日配」を含む

## エリア別気候状況(平均気温・日照時間・降水量)

### ①平均気温

**12月(平年との比較)** 上旬は全国的に平年に比べ気温が低く、下旬もやや低い気温となった

**前年同月と比較して** 上旬は昨年と比べ大幅に気温が低かったが、中旬以降は前年並みの気温となった

	平年との気温差℃						前年との差(℃)		
	2012年12月			2011年12月			前年との差(℃)		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
北海道地方	-1.0	-0.2	-3.0	-1.7	-1.4	0	0.7	1.2	-3.0
東北地方	-2.2	-0.2	-1.9	-0.5	-1.0	-1.9	-1.7	0.8	0
関東甲信地方	-2.0	-0.5	-0.9	-0.2	-0.4	-1.9	-1.8	-0.1	1.0
北陸地方	-3.2	-1.0	-1.8	-0.4	-0.7	-2.6	-2.8	-0.3	0.8
東海地方	-2.6	-0.7	-0.9	0.9	-0.2	-1.8	-3.5	-0.5	0.9
近畿地方	-3.0	-0.7	-1.4	1.0	-0.3	-1.9	-4	-0.4	0.5
中国地方	-3.3	-0.9	-1.8	0.8	-0.4	-2.1	-4.1	-0.5	0.3
四国地方	-2.8	-0.4	-1.3	1.2	-0.4	-2.0	-4	0.0	0.7
九州北部	-2.7	-0.3	-1.4	1.2	-0.8	-2.1	-3.9	0.5	0.7
九州南部・奄美地方	-2.1	0	-0.5	1.3	-1.1	-2.0	-3.4	1.1	1.5

平年差℃

平年差-2℃以上

平年差-1℃以上

平年差+1℃以上

平年差+2℃以上

前年差℃

-2℃以上

-1℃以上

+1℃以上

+2℃以上

### ②日照時間

**12月(平年との比較)** 全国的にほぼ平年並みの日照時間となった

**前年同月と比較して** 前年と比べ、上旬はやや日照時間が多く、下旬はやや少ない日照時間となった

	日照時間 平年比(%)						前年との差(℃)		
	2012年12月			2011年12月			前年との差(℃)		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
北海道地方	73	85	100	114	107	97	-41	-22	3
東北地方	79	107	89	77	87	95	2	20	-6
関東甲信地方	99	114	75	66	132	108	33	-18	-33
北陸地方	66	128	72	45	98	72	21	30	0
東海地方	109	107	81	66	127	102	43	-20	-21
近畿地方	96	96	77	52	118	106	44	-22	-29
中国地方	86	107	71	45	97	89	41	10	-18
四国地方	83	101	77	55	123	114	28	-22	-37
九州北部	74	102	59	55	102	98	19	0	-39
九州南部・奄美地方	68	90	82	65	118	90	3	-28	-8

平年比%

平年比50%以下

平年比51%~75%

平年比125%~149%

平年比150%以上

前年差%

-50%以下

-25%~-49%

+25%~+49%

+50%以上

### ③降水量

**12月(平年との比較)** 上旬は、北海道・東北・北陸地方で多く、下旬は全国的に平年を上回る降水量となった

**前年同月と比較して** 上旬は北海道を除き前年より少なく、中旬は北陸を除き全国的にやや多く、下旬は非常に多い地域が多かった

	降水量 平年比(%)						前年との差(℃)		
	2012年12月			2011年12月			前年との差(℃)		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
北海道地方	304	150	109	160	82	130	144	68	-21
東北地方	190	99	138	146	52	69	44	47	69
関東甲信地方	61	30	349	267	8	2	-206	22	347
北陸地方	193	72	137	93	129	133	100	-57	4
東海地方	71	122	519	137	6	18	-66	116	501
近畿地方	84	144	419	109	27	55	-25	117	364
中国地方	86	151	276	239	28	90	-153	123	186
四国地方	70	170	478	260	7	8	-190	163	470
九州北部	79	212	374	202	2	11	-123	210	363
九州南部・奄美地方	78	158	314	167	11	32	-89	147	282

平年比%

平年比50%以下

平年比51%~75%

平年比125%~149%

平年比150%以上

前年差%

-50%以下

-25%~-49%

+25%~+49%

+50%以上

気象庁ホームページより引用

平均値は過去30年(1981年~2010年)による

スーパーマーケット統計事務局作成

# スーパーマーケット景気動向調査

## 1月調査結果(12月実績)

スーパーマーケット中核店舗を対象として経営動向や景気判断を調査し、月次でスーパーマーケット経営を取り巻く内外の環境変化を定量的に明らかにすることを目的としています。またスーパーマーケット販売統計調査における売上変動の要因について補足する役割を果たすことも期待しています。

### 【経営動向調査】

#### 調査項目①

スーパーマーケット中核店舗における「売上」「収益」「生鮮品仕入原価」「食品仕入原価」「販売価格」「客単価」「来客数」について、前年同月及び前月と比較し「かなり増加」から「かなり減少」までの5段階で調査

経営動向調査 DI(Diffusion Index)の算出方法

回答構成比(%)に、以下の点数を乗じて DI を算出

かなり改善+0.5・やや改善+0.25・変わらない±0・やや悪化-0.25・かなり悪化-0.5

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「0」

#### 調査項目②

「青果」「水産」「畜産」「惣菜」「日配」「一般食品」「非食品」の各カテゴリーについて、当月における好調カテゴリーと不調カテゴリーとその要因を調査

### 【景況感調査】

#### 調査項目

「景気状況」、「消費者購買意欲」、「周辺の競合状況」、「周辺地域の景気」について、2~3か月前と比較した現状及び今後2~3か月の見通しを「かなり改善」から「かなり悪化」までの5段階で調査

景況感 DI(Diffusion Index)の算出方法

回答構成比(%)に、以下の点数を乗じて DI を算出

かなり改善+1.0・やや改善+0.75・変わらない+0.5・やや悪化+0.25・かなり悪化+0.0

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「50」

2013年1月22日

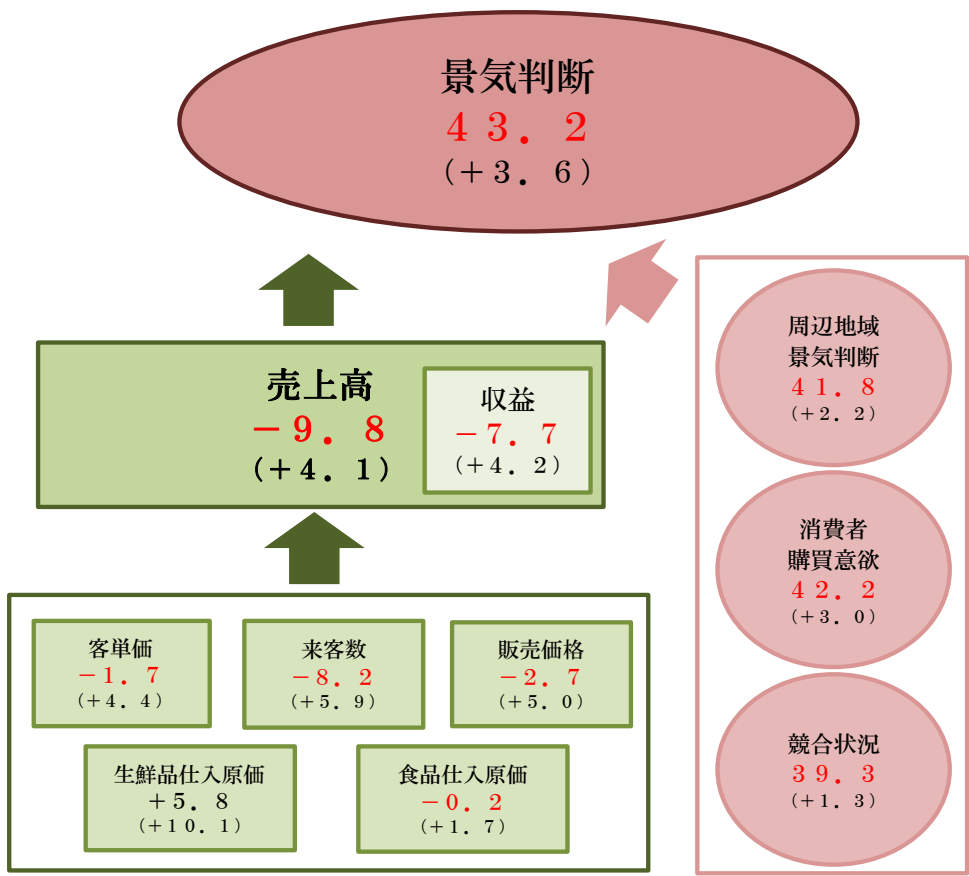
日本スーパーマーケット協会  
オール日本スーパーマーケット協会  
一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

スーパーマーケット景気動向調査に関するお問い合わせ  
tokei@super.or.jp

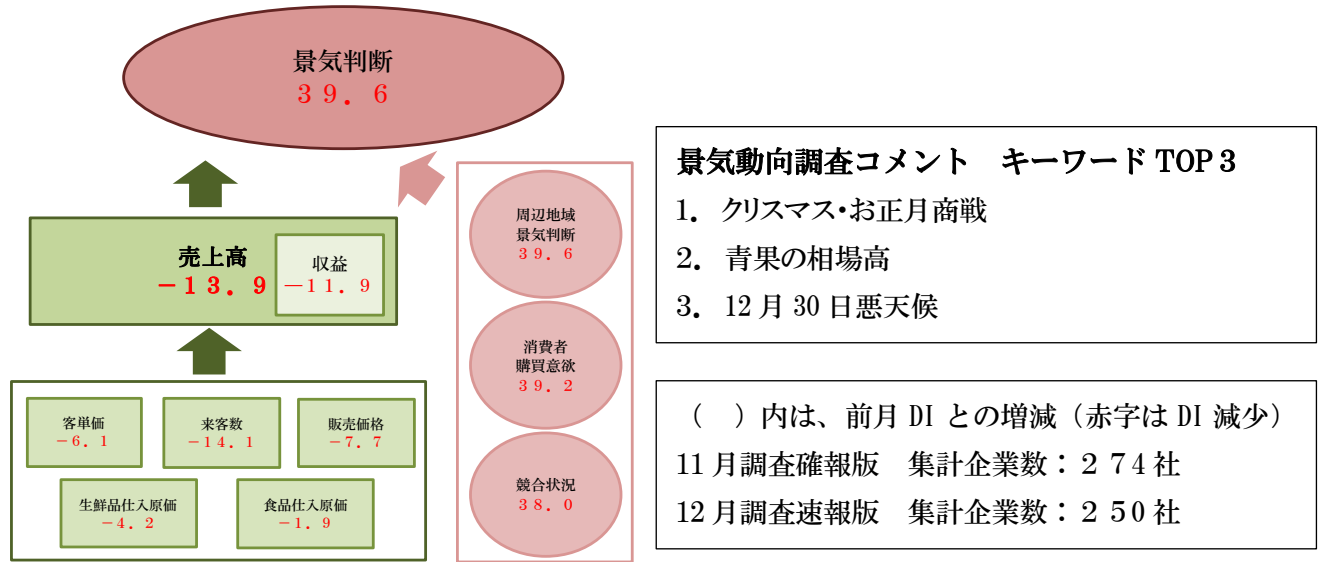
# I. 調査結果概況

12月スーパーマーケット中核店舗における景気判断は43.2と改善をみせた。売上高DI、収益DI共に前月に4ポイント程度持ち直しがみられた。これは、客単価DIがプラス4.4で-1.7と上昇、来客数DIもプラス5.9で-8.2と改善し、販売価格DIも上昇したことが要因と考えられる。生鮮品原価DIは青果相場高の影響を受けプラス10.1で5.8となり大きな上昇をみせている。景況感DIはすべてDIが改善に転じている。ただし、上昇は小幅にとどまっており、特に先行き判断に対してはやや慎重な判断が続いている。前月までの下降傾向は一服した感があるが、今後の本格的な上昇基調をたどるのかについては次月以降引き続き動向を注視していきたい。

## 12月中核店舗における景気動向（速報版）



## 11月中核店舗における景気動向（確報版）





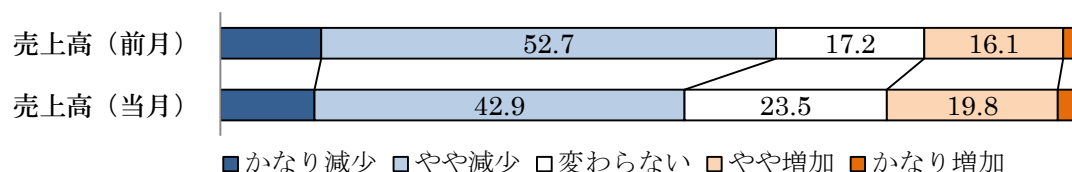
## II. 調査結果詳細

### 1. 経営動向調査（前年同月との比較）

#### ①売上高 DI

「やや減少」が減少し「変わらない」が増加したため DI は上昇

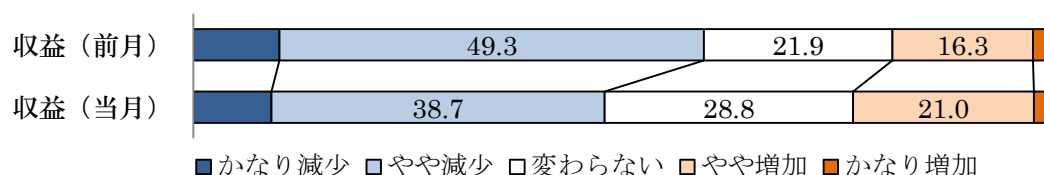
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
売上高 (前月)	11.7	52.7	17.2	16.1	2.2	-13.9
売上高 (当月)	10.9	42.9	23.5	19.8	2.8	-9.8



#### ②収益 DI

「やや減少」が減少し「やや増加」「変わらない」が増加し、DI は上昇

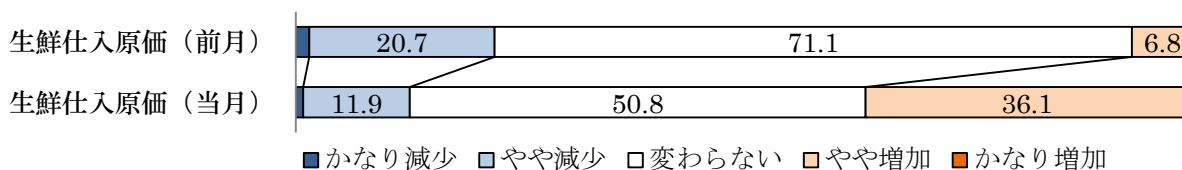
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
収益 (前月)	10.0	49.3	21.9	16.3	2.6	-11.9
収益 (当月)	9.1	38.7	28.8	21.0	2.5	-7.7



#### ③生鮮仕入原価 DI

「やや減少」「変わらない」が減少し、「やや増加」が大きく増加し、DI は上昇

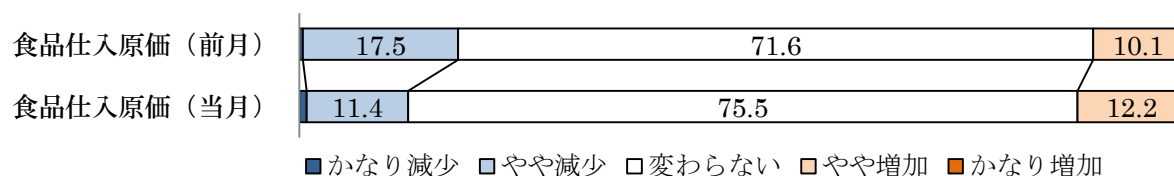
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
生鮮仕入原価 (前月)	1.5	20.7	71.1	6.8	0.0	-4.2
生鮮仕入原価 (当月)	0.8	11.9	50.8	36.1	0.4	5.8



#### ④食品仕入原価 DI

「やや減少」が減少し「変わらない」が小幅に増加し、DI は小幅に上昇

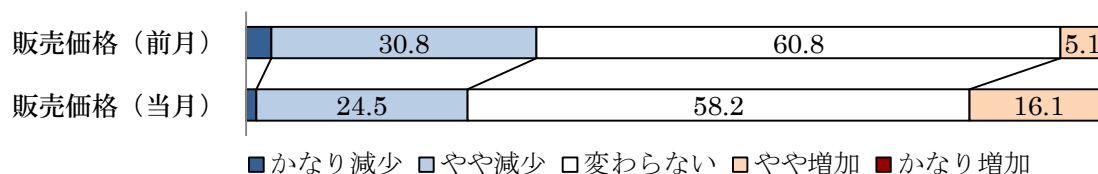
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
食品仕入原価 (前月)	0.4	17.5	71.6	10.1	0.4	-1.9
食品仕入原価 (当月)	0.8	11.4	75.5	12.2	0.0	-0.2



### ⑤販売価格 DI

「やや減少」が減少し「やや増加」が増加したため DI は上昇

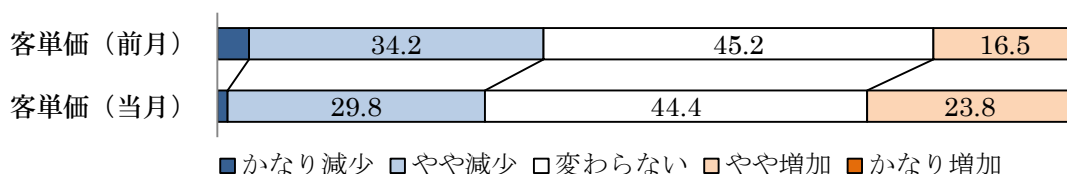
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
販売価格 (前月)	2.9	30.8	60.8	5.1	0.4	-7.7
販売価格 (当月)	1.2	24.5	58.2	16.1	0.0	-2.7



### ⑥客単価 DI

「やや減少」が減少し「やや上昇」が増加したため DI は上昇

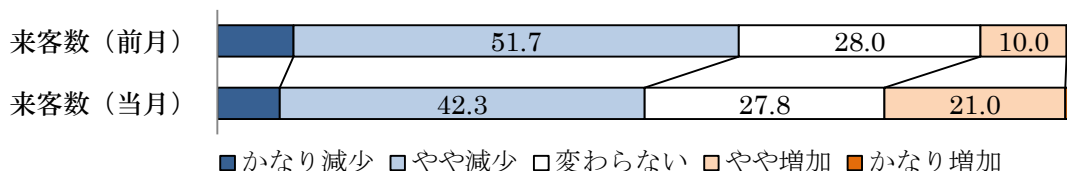
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
客単価 (前月)	3.7	34.2	45.2	16.5	0.4	-6.1
客単価 (当月)	1.2	29.8	44.4	23.8	0.8	-1.7



### ⑦来客数 DI

「やや減少」が減少し「やや増加」が増加したため DI は上昇

回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
来客数 (前月)	8.9	51.7	28.0	10.0	1.5	-14.1
来客数 (当月)	7.3	42.3	27.8	21.0	1.6	-8.2

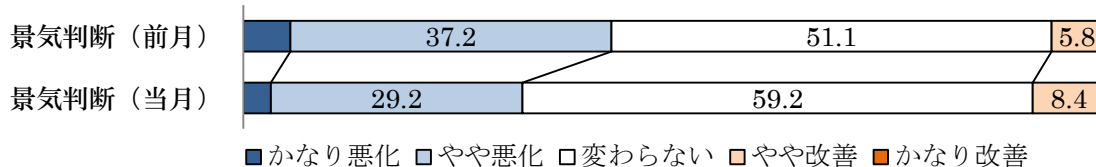


## 2. 景況感調査（現状判断：2～3カ月前との比較）

### ①景気判断 DI

「やや悪化」が減少し、「変わらない」が増加したため DI は上昇

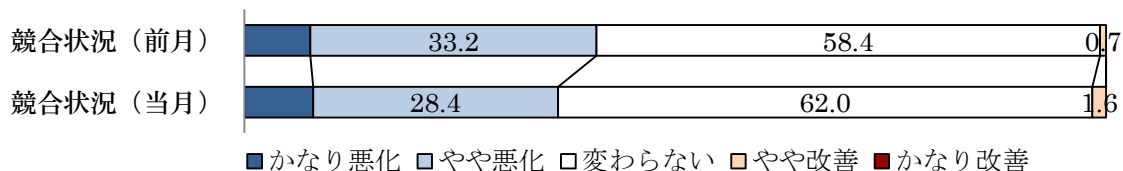
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
景気判断 (前月)	5.5	37.2	51.1	5.8	0.4	39.6
景気判断 (当月)	3.2	29.2	59.2	8.4	0.0	43.2



### ②周辺競合状況 DI

「やや悪化」が減少し、「変わらない」が増加したため DI は小幅に上昇

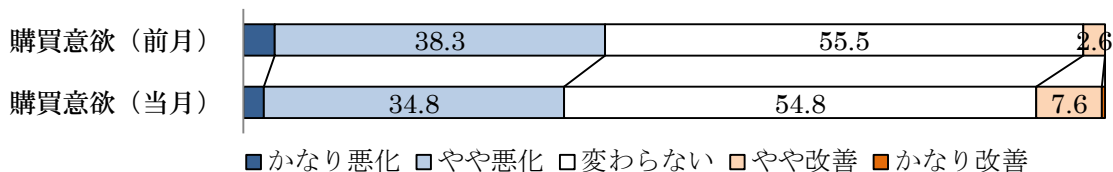
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
競合状況 (前月)	7.7	33.2	58.4	0.7	0.0	38.0
競合状況 (当月)	8.0	28.4	62.0	1.6	0.0	39.3



### ③消費者購買意欲 DI

「やや悪化」が減少し、「やや改善」が増加したため DI は小幅に上昇

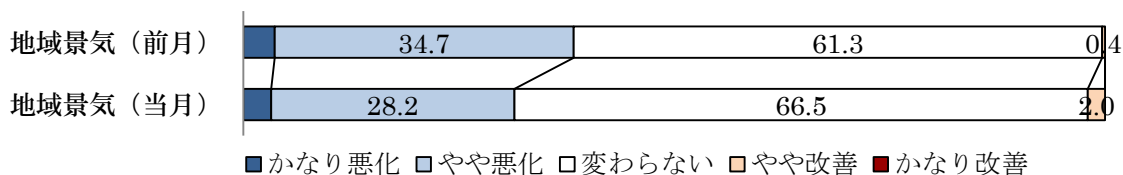
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
購買意欲 (前月)	3.6	38.3	55.5	2.6	0.0	39.2
購買意欲 (当月)	2.4	34.8	54.8	7.6	0.4	42.2



### ④周辺地域景気状況 DI

「やや悪化」が減少し、「変わらない」が増加したため DI は小幅に上昇

回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
地域景気 (前月)	3.6	34.7	61.3	0.4	0.0	39.6
地域景気 (当月)	3.2	28.2	66.5	2.0	0.0	41.8

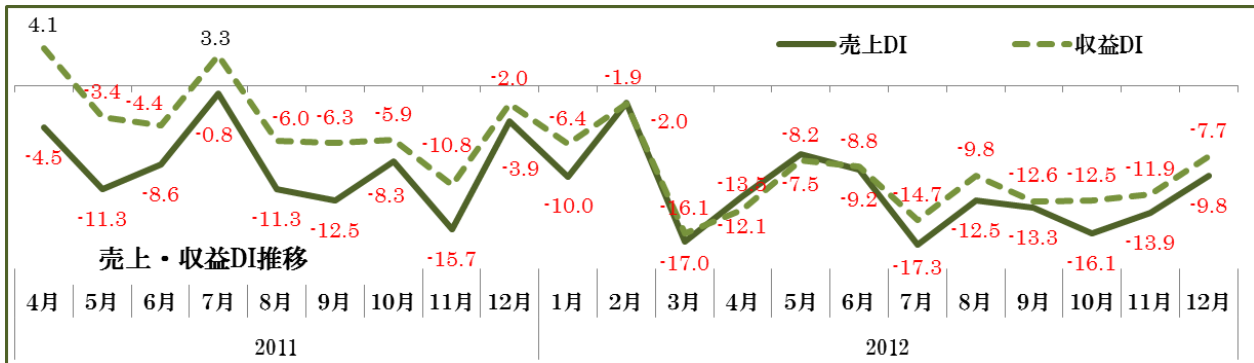


## II. 調査結果推移 (2011年4月～)

### 1. スーパーマーケット経営動向調査

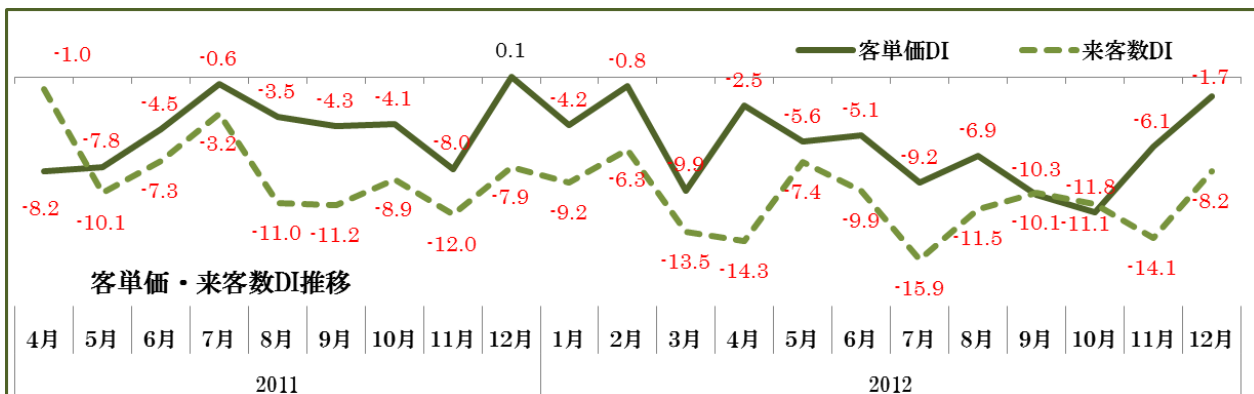
#### ①売上高 DI・収益 DI

「売上高 DI」持ち直し 「収益 DI」持ち直し



#### ②客単価 DI・来客数 DI

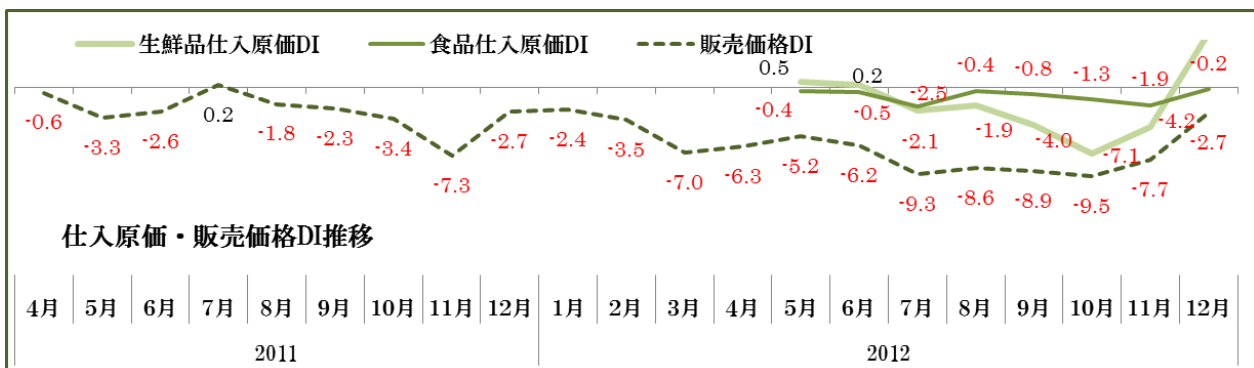
「客単価 DI」大幅に上昇 「来客数 DI」持ち直し



#### ③生鮮品仕入原価 DI・食品仕入原価 DI・販売価格 DI

「生鮮品仕入原価 DI」大幅に上昇 「食品仕入原価 DI」小幅に上昇

「販売価格 DI」大幅に上昇



## 2. スーパーマーケット景況感調査

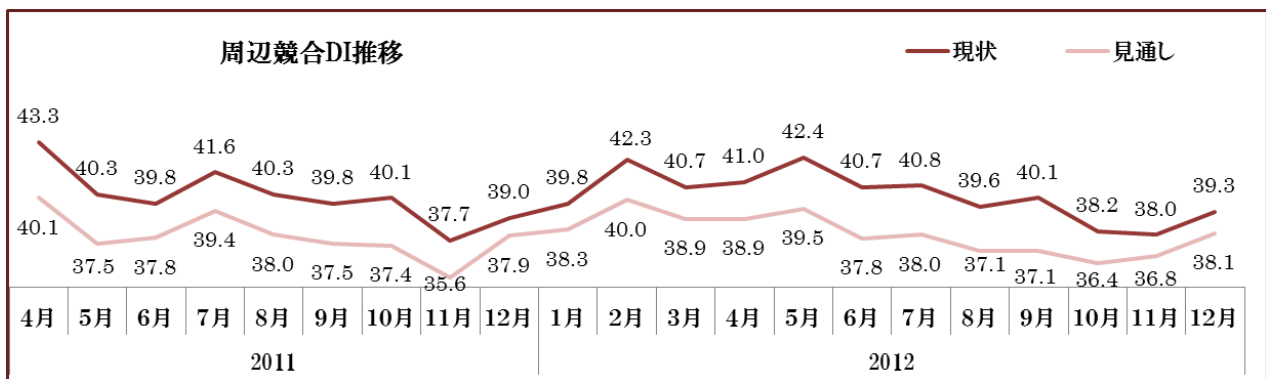
### ①景気状況 DI（現状判断・見通し）

現状判断は、見通し判断はともに改善



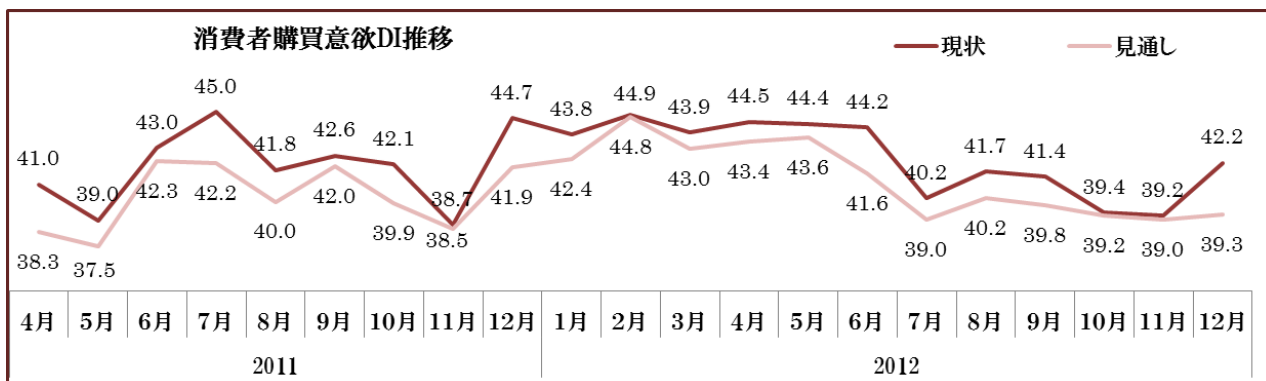
### ②周辺競合状況 DI（現状判断・見通し）

現状、見通し判断ともに小幅に改善も低水準での横ばい傾向が続く



### ③消費者購買意欲 DI（現状判断・見通し）

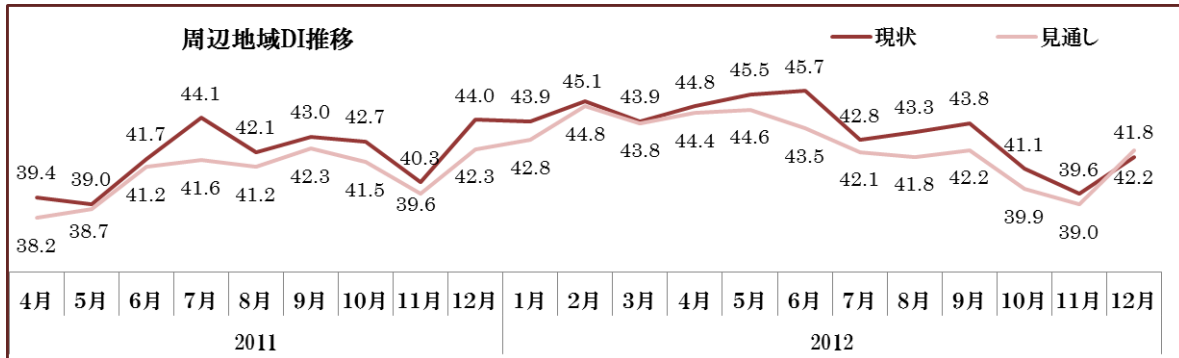
現状判断は改善も、見通し判断は横ばい



### III. 調査関連資料

#### ④ 周辺地域 DI (現状判断・見通し)

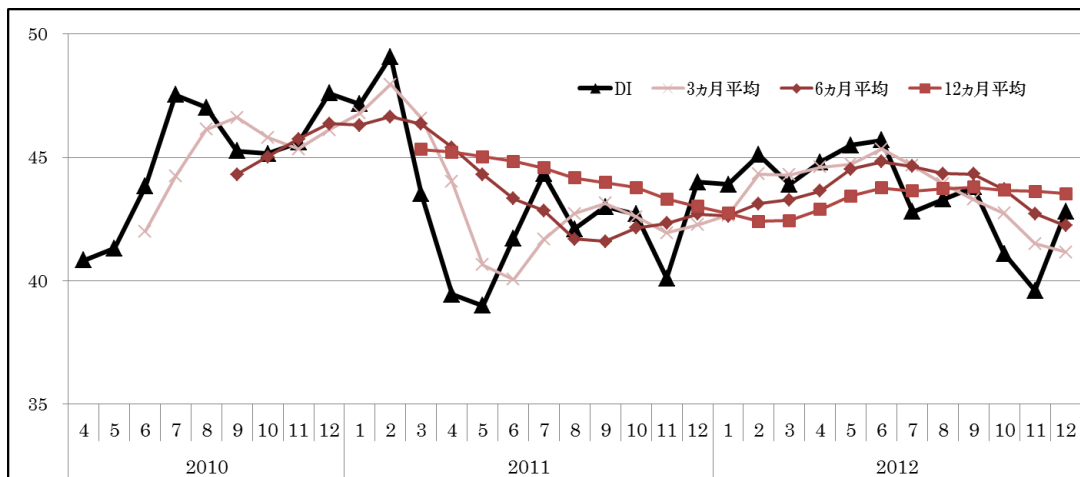
現状判断は、見通し判断とともに改善し、見通しが現状を上回る



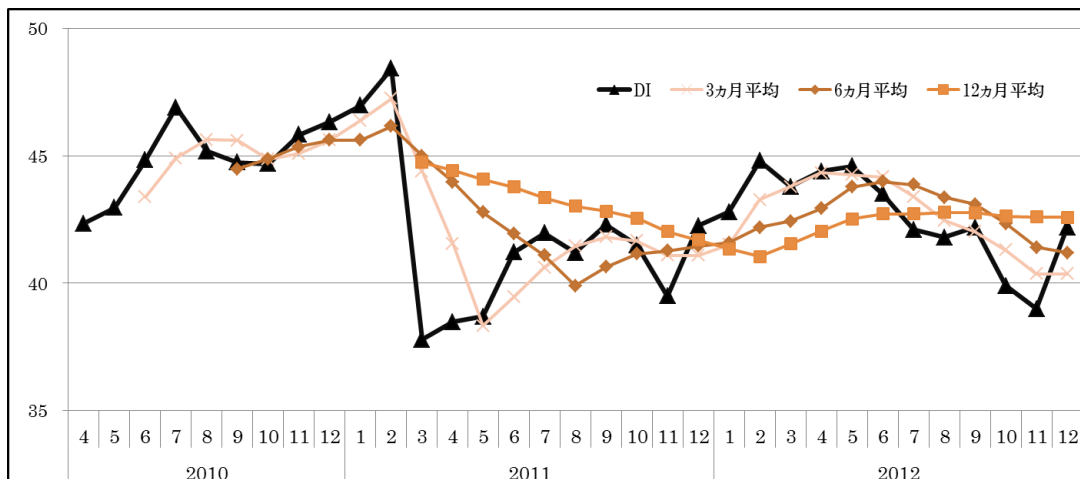
#### 1. 移動平均 (周辺地域景気 DI 現状判断・見通し)

現状判断は6月、見通し判断は2月をピークに下降傾向となり、10月は12カ月平均線もつ下向きに変化し、下降トレンドが継続している。12月は大幅な改善をみせたものの、依然としていずれの平均線も下向き化が続いており、トレンド変化の兆しはまだ確認することはできない。

##### ① 現状判断 (中長期傾向)



##### ② 見通し判断 (中長期傾向)



## 2. カテゴリー別動向

### ①好調カテゴリー・不調カテゴリー

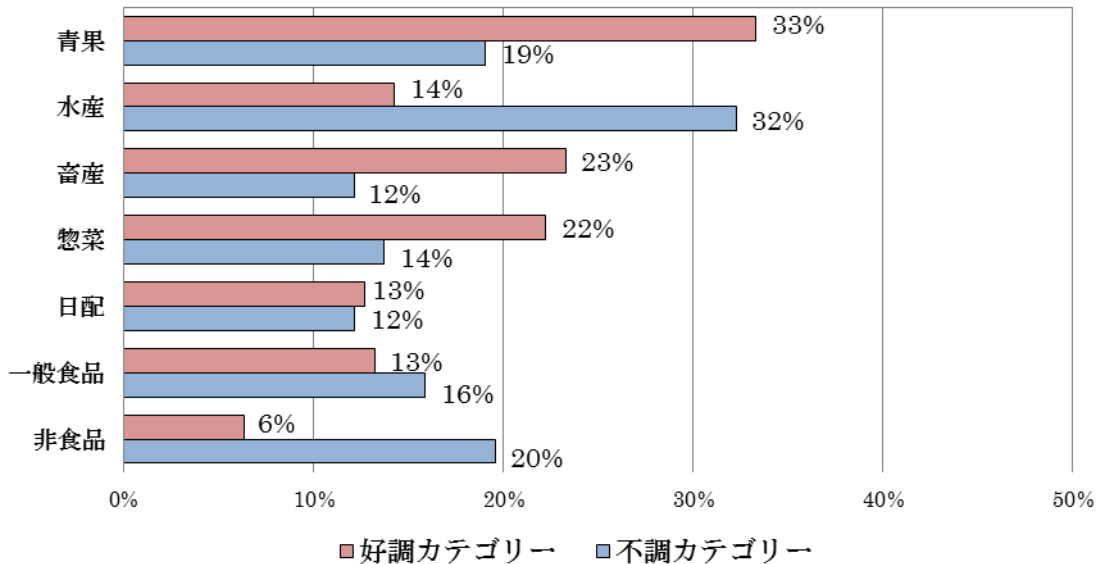
好調回答割合上位カテゴリー：①「青果」②「畜産」③「惣菜」

(好調回答%－不調回答%が多い：①「青果」②「畜産」③「惣菜」)

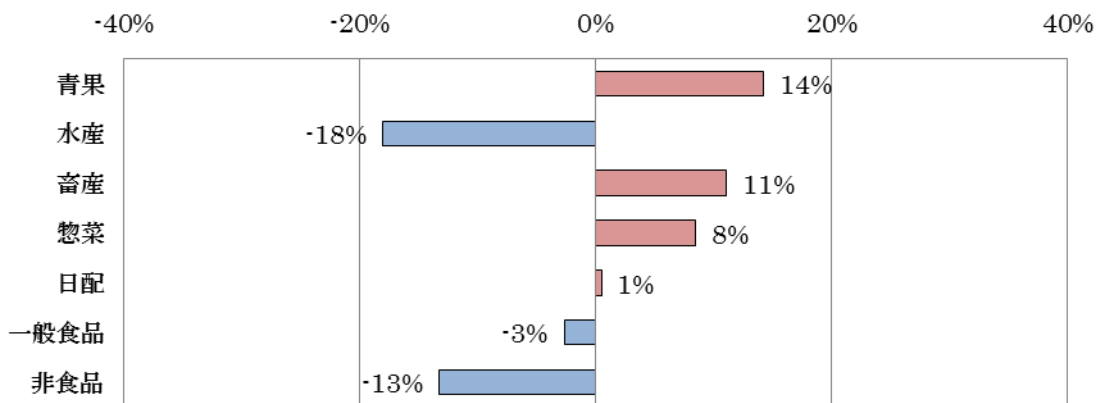
不調の回答割合上位のカテゴリー：①「水産」②「非食品」③「青果」

(好調回答%－不調回答%が少ない：①「水産」②「非食品」③「一般食品」)

2012年12月 カテゴリー別好調・不調割合



2012年12月カテゴリー別動向 (好調回答%－不調回答数%)



※N=189 複数回答あり

### ②カテゴリー別主な好不調コメント

	好調コメント	不調コメント
青果	野菜相場高	野菜相場高、イチゴ相場高、みかん
水産	(刺身)	不漁による品薄、(塩干)
畜産	放射性物質問題の落ち着き	(鶏肉)
惣菜	クリスマス・年末商戦	寿司
日配	クリスマス・年末商戦	(和日配)、競合
一般食品	米、酒	競合、
非食品		家庭用品

( ) は少数コメント